



お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。

諫早市社会福祉大会開催

お互いさまの地域づくり
～できることからやってみよう～



1月18日(木) 諫早文化会館において、市民の皆様と地域が抱える課題やその解決に向けた取り組みについて共に考え、地域で安心して暮らすことができる地域福祉の充実を目指し諫早市社会福祉大会を開催。当日は、数多くの関係団体のご協力のもとミニナイスハートバザールや諫早市ボランティア連絡協議会・諫早市地域包括ケア推進課のパネル展など盛りだくさんの内容に、約600名の参加者があり大盛況で幕を閉じました。

活動発表では、「いつまでもいきいきと暮らせるまちづくり」を目指し、市内で住民同士のふれあいや助け合いの取り組みに活躍されている人に、取り組み内容を発表していただきました。

次のページでは、発表者お二人の活動への思いなどのお話をご紹介します。



お知らせ あなたの「かんしゃ」募集します

社協広報紙「かんしゃ」の表題の文字とイラストをお寄せください！

■応募方法：右のQRコードから様式をダウンロードしていただき、ご記入の上、社協へ郵送してください。採用された方にはクオカード500円分をプレゼントいたします。

今月のイラストは 藤木 莉己さん(12歳)、文字は 川口 恵里子さん に書いていただきました。ありがとうございます。



高齢化などの影響で、集いの場が少なくなった元釜地区。住民同士の交流を失くしてはいけないと、江崎氏が新スポーツ「フロアカーリング」を考案。今、様々な場所で活用され、住民同士がつながるきっかけとなっています。

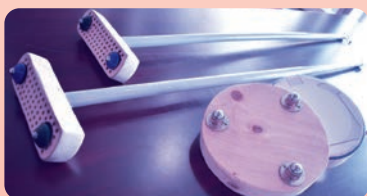
Q. 「フロアカーリング」を思いついたきっかけは？

A. 元釜地区は、「住民同士のつながりが強い」ことが特徴です。そのため、行事も多い地域でしたが、近年では高齢化の影響もあり、交流の場が失われつつありました。「このままでは、代々受け継がれてきた関係性が途絶えてしまう。老若男女問わずみんなで楽しめる競技がないか」と考えていました。

そんな中、平昌オリンピックのカーリング競技をテレビで見て、戦略や技術、競技の奥深さを感じ、気軽に楽しめる競技として改良できないものかと思い立ったことが始まりです。

Q. 製作にあたって苦労されたことはありますか？

A. カーリングに必要なストーンやスティック等はすべて手作りで製作しています。約半年の時間をかけ、試行錯誤を繰り返して、道具を完成させることができました。



スティックとストーン



カーリングを楽しむサロン参加者

Q. 皆さんの反応はどうでしたか？

A. 実際にふれあいいきいきサロンで体験会を実施したところ、参加者全員に喜んでもらい「楽しかった・またやりたい」などの嬉しい声が多く聞かれました。今では、他の地区でも住民の交流に活用されるようになっていきます。たくさんの人に楽しみながら交流してもらい、住民同士のつながり作りや助け合いにつながっていただければ、大変嬉しく思います。

Q. これからの元釜地区はどんなまちになってほしいですか？

A. フロアカーリングをきっかけとし、元釜地区の住民同士がつながり続け、困りごとがあったら、お互いが助け合うような関係性が今後も続いていくことを望んでいます。

地域で困っている人へ生活支援を行う有償ボランティア「こながい支えあいの会」が動き出した小長井地区。同会では、この活動で地域住民の絆がより一層深まり、「小長井は安心して住みやすいところ」と言われるような地域づくりを目指しています。



利用を呼びかけるチラシ

Q. 小長井地区の特徴は？

A. 昔ながらのつながりや住民の絆がある地域です。しかし、食料品を扱う店が減り、買い物や交通の不便さがあります。また、若い世代は通勤に便利な地域に住む人が増え、少子高齢化と人口減少が進んでいます。

Q. これまでどのくらいの依頼がありましたか？

A. 昨年11月に発会し、1月末現在で、21件の活動をしました。相談の件数も増え、住民に理解が広がっていると感じます。

利用者には、「どんな人が来てくれるかなと思っていたら、あなたで良かった」と顔見知りの人の手助けに、安心してもらっています。



住民同士が支え合う～移動支援の様子～

Q. 住民同士の支え合いが必要と思ったきっかけは？

A. 高齢者にアンケートを協力してもらい、身体が弱った人が通院や買い物などサービスの狭間で不便な生活をしている人がいることを知りました。

そこで、このような人を対象に、住民が自分にできることをお互い様の気持ちで支え合う仕組みづくりを目指し、「支えあいの会」を立ち上げました。住民同士で組織づくりなどの話し合いを重ねていった結果、現在では、多くの住民が賛同しボランティアとして参加してくださっています。

Q. 市民の皆さんへメッセージをお願いします。

A. 私たちは、10年先の小長井を考えたとき、日常生活に困る人が今以上に増えることを知り、住民同士で助け合うことの必要性を感じました。

私たちの活動を知っていただくことで、みなさんの地域でも住民の絆を活かした活動に取り組むきっかけにして欲しいと思います。

あなたのしあわせは？

「子どもの下校時、地域のみなさまの温かい見守りに感謝です。」
川口 恵里子 さん

社会福祉大会に参加して心に残ったことを伺いました

- 以前は、お互いが知り合いであったが、最近では隣人さえも知らない。住民同士の支え合いのありがたさを改めて認識した。近隣同士声をかけあい支え合っていきたい。
- フロアカーリングは自治会などで行われた事で皆さんの交流が深まり、生きがいにつながり、心身の健康にも本当に良い事をされていると思った。
- 地域の絆が大切なことを改めて考えさせられた。
- 今回の活動発表を聞いて、自分たちの地域では何が出来るかを考える機会となった。
- 活動発表が非常に参考になった。自身の地域での活動に活かしていきたい。
- 具体的な活動場面の紹介やパネル展があり、私たちの活動の参考になり、活動意欲にもつながる。

これまでの活動に感謝し今後もより一層のご活躍を！

式典では、長年にわたり社会福祉の発展やボランティア活動に尽力された人々への表彰が行われました。

諫早市社会福祉協議会表彰(敬称略)

ボランティア団体 諫早市太極拳協会健康促進部

民生委員・児童委員(8年以上) 中溝 千鶴

社会福祉団体職員又は社会福祉施設職員(30年以上)

稲富 ひとみ 城下 照代 岸川 スミヨ 石井 昭子

社会福祉団体役員又は社会福祉施設役員(10年以上)

中道 由起子 平山 仁
吉田 十三一 杉山 勝
樟 美和子



出口ボランティア表彰(敬称略)

奨励賞 長崎日本大学高等学校ボランティアサークル
山口 公德
大久保 雅弘
石丸 葉子



特別奨励賞

う触予防推進協議会 歯なまる元気グループ
田添 政継

安心してボランティア活動をするために

令和6年度ボランティア活動保険の受付を開始しました

ボランティアの人々が安心して活動に取り組むことができるよう、ボランティア活動中の様々な事故による傷害や賠償責任などについて補償する保険として、「ボランティア活動保険」があります。

【加入プラン】

基本プラン 350円/人
天災・地震補償プラン 500円/人

【補償期間】

令和6年4月1日
～令和7年3月31日
※年度途中の場合は、加入日の翌日



(申込・問い合わせ)

諫早市社会福祉協議会
TEL:0957-24-5100

※詳しい内容等につきましては・・・

ふくしの保険

検索



令和5年度赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動に温かいご支援・ご協力をありがとうございました

募金実績額(令和6年1月31日現在)

赤い羽根共同募金 17,528,614円

歳末たすけあい募金 2,578,565円

※募金にご協力いただいた方(掲載を希望される方)は、本会ホームページに掲載させていただく予定にしておりますのでご覧ください。



在宅福祉活動車をご寄贈いただきました!

このたび、川崎興産ホールディングス様の「川崎清老人福祉基金」より軽自動車1台をご寄贈いただきました。

いただきました福祉車両につきましては、訪問業務など大切に使用させていただきます。ありがとうございます。ご協力ありがとうございました。



あなたのしあわせは?

「人から“ありがとう”と言われる時に、“こちらこそありがとう”と思える時」
藤木 莉己さん(12歳)

第11回

地区社協情報便

～上諫早地区社会福祉協議会～

誰もが安心して暮らせる
まちづくりを目指して

執筆

上諫早地区
社会福祉協議会
会長 福 富 力

令和五年度 上諫早地区社協が取り組む事業

- ・ふれあいいきいきサロン
(3箇所)
- ・ふれあい食事サービス
- ・世代間交流会
- ・ひとり暮らし高齢者宅訪問
- ・ひとり暮らし高齢者の集い
- ・高齢者対象講習会
- ・福祉協力員研修
- ・児童が育てた花(鉢)の提供
- ・広報紙発行

上諫早地区は、本明町と目代町で構成された人口千七百人程度の静かで自然豊かな地域。上諫早小学校の校区は細長く、通学路が4キロ以上の児童もおり、諫早市の支援でタクシー通学している児童も数名いる地域です。

先日、4年ぶりに上諫早小学校にて児童と地域住民との交流会を開催しました。児童のみなさんが、楽曲の演奏をはじめ、さつまいも・お米作り体験などの発表を行い、楽しませてくれました。子どもから高齢者までみんな満点の笑顔で交流している姿を見て、改めて多世代による交流の大切さを実感したところです。

また、10月には高齢者対象講習会を開催。法務局からDVDを借りて、認知症の勉強とポッチャ体験を実施し、地域住民同士の交流を図りながら、今後参考になる情報について理解を深めました。

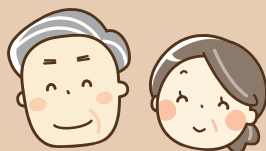
本地区は諫早市でも少子高齢

化が特に進んでいる地域であります。子ども頃から同級生が多く、助け合いが根付いている強みがあります。地域内で行われている、ふれあいいきいきサロンや老人会などの活動に加え、グラウンドゴルフ大会や映画会など新しいことも取り入れていきたいと考えています。少し目先を変えながら、一人でも多くの人が興味を持つていただく取り組みを行い、誰もが住み慣れたこの地域で、安心して暮らしかつ続けられるまちへと繋がっていくような活動を続けて参ります。

高齢者講習会の様子



上諫早小学校児童との交流の様子



Follow me



ご寄附ありがとうございました

次の皆さまから、心温まるご寄附をいただきました。
ご厚志に沿うよう地域福祉事業のため大切に使用させていただきます。
令和6年1月1日～令和6年1月31日受付分
香典返し

▶ 船津美恵子様(飯盛町)【亡母 上原末子様】

3月のふれあい福祉相談

財産、権利擁護など、法律上の悩みごとなどをおたずねください。(10日前の予約が必要)

無料専門相談	開設日	3月22日(金) 弁護士
	開設時間	午後1時30分～4時
	場所	諫早市社会福祉協議会 電話 24-5100

編集発行 社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会

〒854-0045 諫早市新道町948番地
TEL0957-24-5100 FAX0957-24-5101
ホームページ <http://isahaya-shakyo.jp>
(諫早市社会福祉協議会で検索ください)